

しもつけ

学校だより

Vol.7 吉田東小学校

所在地 下野市中川島7

電話 48-5007

教育目標(めざす児童像)

「心身ともに健康でたくましく、
創造性と実践力に満ちた
心豊かな児童の育成」

・思いやりのある子 ・進んで学ぶ子 ・明るく元気な子

学校長 村石 美知子 学級数 6クラス

児童数 106名 職員数 15名



「心の教育」の充実《草花栽培活動》

四季折々の草花が校内の花壇だけにとどまらず、学校に隣接する県道沿いにも咲き誇る環境が、本校の自慢の一つでもあります。

その草花は6年生が中心となって種子からピート盤で発芽させ、3・4・5年生も協力してポットへの移植から定植までを行い、その後は全学年交代で給水を分担して行っています。特に、10月後半からは、重要な学校行事である「卒業式」、また、次年度「入学式」の会場を彩るための「春咲花」(パンジー、ノースポールなど)の一連の作業が始まります。

この体験活動を通して、発達段階に応じて、互いに協力する心や生命に気づきそれを大切にする心、また、命を大切にする心の育成を目指しています。



◀ 除草活動

「家庭・地域」との連携《祖父母参観》

毎年、児童の祖父母等を中心とした授業参観を実施しています。地域柄、親子三世代、四世代で生活している家庭も多く、祖父母のみなさんが楽しみにしている学校行事の一つでもあります。

学年により内容はさまざまですが、祖父母と一緒に取り組める学習内容を設定することで、互いに家庭では味わえない緊張の中にも和気藹々とした雰囲気の中で、昔遊びを伝授していただいたり、お裁縫のコツを教えていただいたりと楽しい学習のひとつときとなっています。写真は、本校学区に伝わる十三夜、十五夜に児童が各家庭を巡り、歌に合わせて地面を叩き、五穀豊穡を祈る地域行事に使用する「ぼうじぼ」作りの様子です。家庭とはちょっと違った雰囲気の中で、祖父母との豊かな関わりを通して、家族を敬愛する心の育成に役立っています。



ぼうじぼづくり▶

「我が国の伝統と文化を尊重する教育活動」



伝統や文化は、長い間、その地域の人々の中に価値あるものとして受け継がれたものです。地域の伝統や文化をしっかりと認識し、それらを体験する活動や他文化と比較することを通して、自分の地域を愛したり誇りに思ったり、人々が伝えてきた伝統や文化を自分たちも受け継ぎ育てていこうとする児童の育成に取り組んでいます。

そのために、各教科の中で伝統や文化に関する学習内容の洗い出しや各学年の系統性を見通した学習計画の作成、さらには、地域の教育力を生かした体験的学習を工夫しながら実施しています。写真は、5年生の音楽の授業の様子です。

「アジアの音楽に親しもう」を題材にした学習で、市内の講師を招聘し、「箏」の独特な音色や他の楽器との奏法の違いを学習しながら「さくらさくら」をクラス全員で演奏しました。その他にも「書道教室」「剣道教室」などに、地域の講師をお招きして、本物の伝統や文化に直接触れることを通して、そのよさを見つけて大切にしていこうとする児童の育成を目指しています。